

熟・壮年には元気を！若者には夢を！

第17号

# 維新の風

●発行 平成27年8月 ●発行所 さやま維新の会  
大阪狭山市池尻中 1-2-1 ☎072-289-9508  
e-mail sik@hb.tp1.jp

小原かずひろホームページ  
<http://oharachan.com>  
ブログ更新中「Kazの近況と心情」  
<http://kenxiaoping.seesaa.net/>



## ご挨拶

去る4月26日の統一地方選挙では、1964票もの得票を頂き有難うございませう。

この高得票は市民の皆様への期待度の現れであり、皆様と一緒に住みよいまちづくりを精一杯頑張る所存です。

また、故諏訪久義議員と一緒に組んでいた会派「新風会」をその意志を引き継ぐ形で、今回、上谷元忠議員と共に「さやま維新の会」を結成しました。

引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

大阪狭山市議会議員

小原かずひろ



## オカシクナイカこの序列は・・・

### 議長、副議長、議員

インターネットで市議会議員の調査データを見ると全国の市議会議員の定数と報酬が一目りよう然だ。全国812市議会の中の議員定数や報酬がまちまちであるが、全ての市で、議長、副議長、議員の報酬に格差がついている。唯一の例外は名古屋市中区。この格差は丁度民間会社での、社長・常務・平取締役とよく似ている。

とは関係なく同じ権利を持つている。議員間の申し合わせ等により、議長就任条件を規制しているのはおかしな話である。その上に報酬に格差を付ける理由が分からない。

議員は年齢、性別、得票数など

議長職は平議員より多忙かも知れないが、それも議員活動の範囲内のはず。議長は議事進行に公平・平等が求められる存在であり、議長が〇〇党が取ったとの新聞報道には違和感を持つ。

## 大阪都構想の住民投票に無念が残る

5月17日の住民投票で推進案が僅差で敗れた。「大阪がなくなる」「パスが無くなる」「もっと審議すべきだ」「兎に角反対」等々と理屈に合わない反対の声で、専門家が真剣に検討した案が水泡に期した。

この案は3年以上の専門家による調査研究の末に出されたもので、これこそもつたない。今年

のNHK大河ドラマを見ているが、幕藩体制を潰すには大変なエネルギーが要る。平成の維新の改革は広く全国的にも注目されていた筈。身近な損得勘定だけでは世の中を変えることは出来ないのはギリシヤの危機を見ても明らかだ。

改革の火は消してはいけない。この平成の世にあっても。

〈参照〉全国市議会議長会HP  
▶<http://www.si-gichokai.jp/>

